

IT投資効果を最大化するコンポーザブルインフラ

ハードウェア資源を無駄なく活用し性能・電力・コストの最適化



エンタープライズ品質の実現に向けた富士通の取り組み

システムベンダーとしてのノウハウを集結

高性能 / 省電力	オープン / 互換性	安全性 / 安定性
自動最適化技術 <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じてアクセラレータを組み込んだ高性能なシステムを動的に組立 利用しないハードウェアリソースの開放によりシステム全体の消費電力を低減 	標準技術活用 <p>コンテナ基盤 (Kubernetes® や OpenShift® など) の標準技術の採用により、既存アプリ資産を有効に活用</p>	大規模並列化技術 <p>スーパーコンピュータの安定運用ノウハウにより、ワークロード分離・セキュリティ・障害箇所の特定・分離・保守性などを実現する技術を実装</p>

コンポーザブルインフラを構成する主なハードウェア



富士通サーバ PRIMERGY



ファブリックスイッチ



拡張キャビネット